

ひばりクリニックでの実習を終えて

獨協医科大学 臨床研修医 2年 高瀬賀子

実習期間:2019年4月4日

この度は大変お忙しい中、うりずん見学と訪問診療に同行させて頂き誠にありがとうございました。半日という短い時間ではありましたが、非常に充実した実習をさせていただいたことこの場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

まず、うりずんで放課後デイサービス、日中一時支援、児童発達支援など施設内の様子を見学させて頂きました。うりずんの中は穏やかに光が差し込み、緑が豊かで、職員の方や利用者の方皆さんがみなさん笑顔で過ごされていました。施設全体に子供達を温かく包み込むような空気が流れているように思い、利用されている方々の心地よさと安心感が伝わってきました。

特に印象に残ったのは天井の青空です。ベッドで横になっていることが多いお子さんに、白く無機質な天井ではなく青空を見せてあげたいという高橋先生の思いがあるとのことをお聞きしました。体に障害を持っている方でも、またそのご家族の方、ご近所の方々も含めて皆さんが参加できる季節折々の様々な行事を開催されているとのことでした。障害のある方・ない方皆に五感で感じる垣根ない世界を、という考えに大変感銘を受けました。

訪問診療ではグループホームとご利用者の方のご自宅へ同行させて頂きました。診察の際は利用者の方への問診や血圧測定、聴診等をさせて頂きました。グループホームでは何人かお誕生日の方がいらしたためケーキの被り物をして誕生日の歌と一緒に歌いお祝いをしました。皆さん本当に嬉しそうにされていて、私までとっても嬉しい気持ちになりました。帰りの車の中で、高橋先生は利用者の方やご家族に対して、忙しい中でもその様子を見せないよう、そして忙しい時こそユーモアを持つよう心配りされているというお話しをして下さいました。

今回何軒かの訪問診療に同行させて頂きましたが、在宅診療では高度な知識と技術をその人の生活に寄り添う医療の形に昇華させ、日常と共に行うことなのだ改めて実感致しました。また在宅医療は利用者の方だけでなくご家族など関わる周りの皆さんへも安心と明るさを届けられるのだと感じました。

病院ではなかなか見ることができない利用者の方の穏やかな表情がとても印象に残っております。私自身も今回学ばせて頂いたことを生かし、いつか在宅医療の和に加わることが出来るよう日々精進していこうと思います。

最後になりましたが、今回実習を受け入れてくださった高橋先生はじめスタッフの皆様方、ご利用者の方々、全ての皆様に感謝申し上げます。結びの言葉とさせて頂きまず。今後とも皆様のご健康と益々のご発展ご活躍お祈り致します。